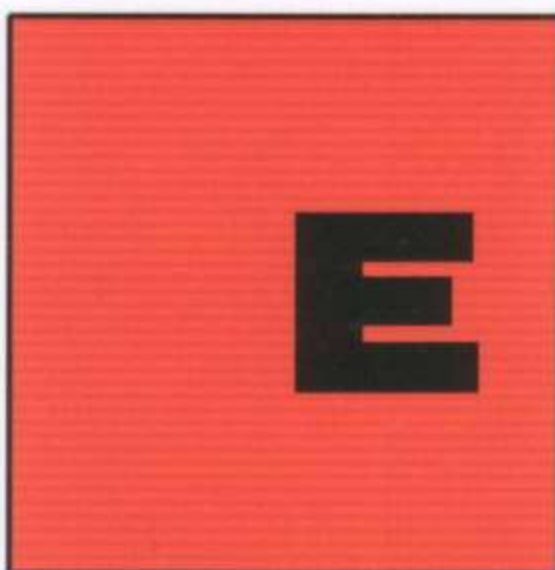


冬コミ限定頒布本

Comic Market 75 DAY 3
2008-12-30



はあッ...

はあッ...

はあッ...

どこか場違いな雰囲気を感じ取って
私は食事を終えると
近くの森で身体を動かして
いたのだけれど

ふと目に入った
美味しそうな果物

それを軽い気持ちで
頬張ってから
私はおかしくなった

なに...
これッ

いやああッ

なッ...

サムザとの戦闘に勝利し、
その曰口モスの城に
一泊する事になった私たち

うッ...
うッ...
うッ...

はあッ
はあッ

グワッ
グワッ
グワッ

グワッ
グワッ
グワッ

ガッ
ガッ
ガッ



そして
意外なことに

私と同じ事態に
陥っている人が
もう一人……

マアム……

ザッ……

マアム
なのかッ？

……ッ

それは
私のよく知って
いる声……

さらに……一目で
分かった

ダイ？

や……

平静を装っては
いるけど
彼もまた……

はあ

はあ

はあ

やあ……

この実を食べて
しまったのだと
いう事を

もしかして……
ダイも……アレを
食べちゃったの……

え……

じゃあマアムも
……その……
変……なのかい

え……ええ



そうやって必死に
言い訳を思いつかせると



もちろんダイに
そんな事する
知識はない！

マアム
や...やめッ.....
んんッ

私だって.....
経験がある
わけじゃない

んんうッ

んッ

んうッ

んうーッ

すごい.....
大きい

でも.....
身体は本能的に
動いていた

自分でも信じられ
ないような事を
平気で.....

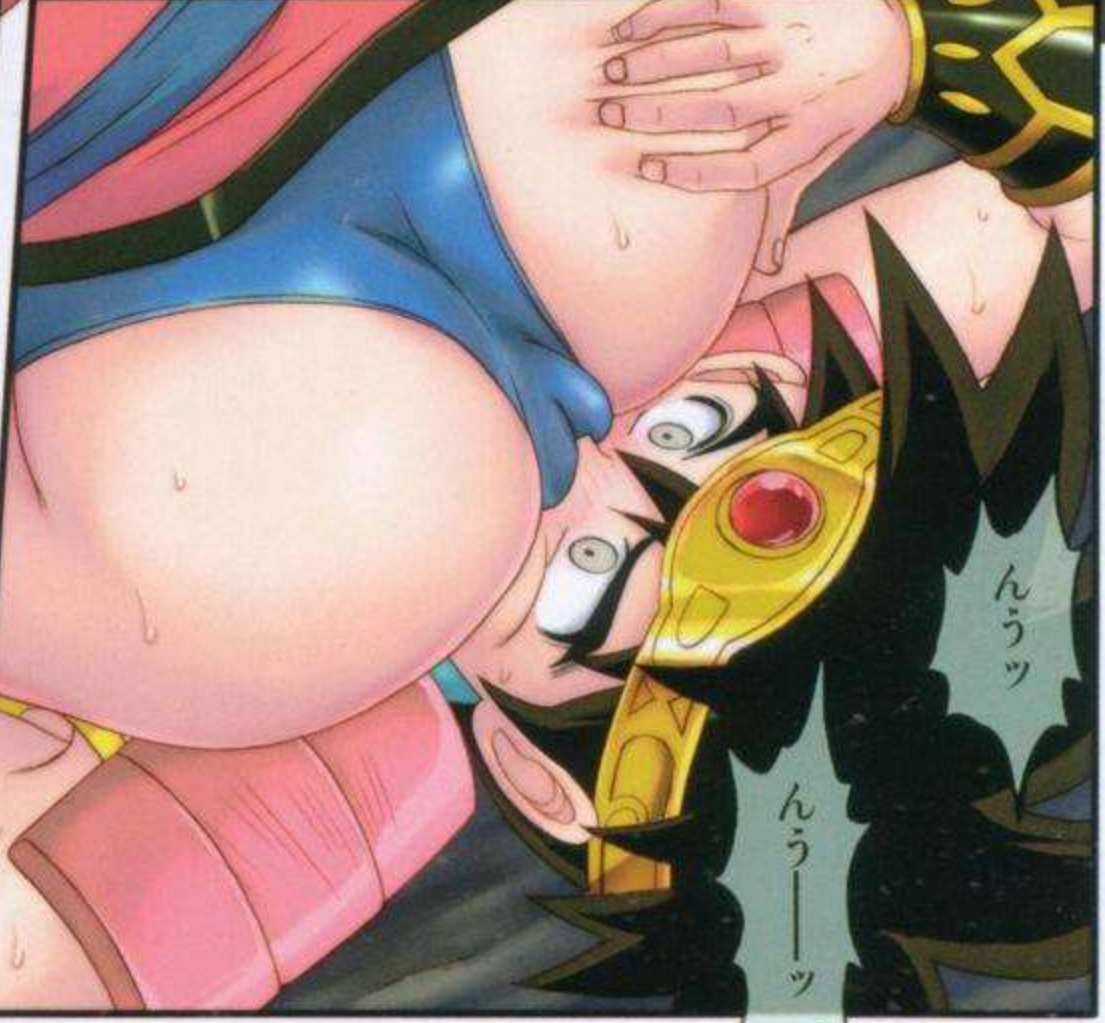
.....何なの.....
このニオイ

嗅いでるだけで
身体がもつと
熱くなる.....

ダイの股間に
生えた

そそりたつた
男の性器を
むさぼるように
舐めまわし

あッ.....





暫く
すると

はあッ

はあッ

はあッ

マアムッ

ダイのそれを
自分の中に……
……挿れたくて
仕方がなくな
ってくる

何をッ

いったい
何をッ

イッ
イッ
イッ
イッ

ず
ぶ
ッ

私は欲望の
赴くまま……
……そうした

むん
♡
ッ

おれ
もうッ……



はあ
はあ

はあ
はあ

マアム……
おれ……ッ

ここにきて
男の本能が
働いたのだろうか

ダメだッ



そして

ああッ

……ダイッ

ああッ

それまでは
混乱して
受身一方だった
ダイも



誰に教わった
わけでもないのに
ダイは腰を激しく
動かしはじめ

巨大に膨れ上がった
肉棒で私の膣をかき混ぜる

あッ...

あッ...

はッ

はッ



その時の身体には
それがとても
気持ちよくて

私もダイも...
互いに強烈な絶頂を
迎えるのだった

ドクッ

ドクッ

ドクッ

いッ...
いッ

もっ...
突いてッ

ダイッ...の
あご...
いいッ

無知ゆえに
ただ衝動で動く
そんな荒い
やり方だけど

んう...
ッ

コリッ

コリッ

あッ

はな
もなッ♡



だけど
一度イっても身体の
火照りは収まる気配が
まったくなく

はあ...

はあ...

ぽろぽろ...

はあ...



うっんむしろ
.....

何をすれば
どう気持ちいいのかを
具体的に知り始めた身体は

マア.....ム
うう

それ...
気持ちいい...

もっと貪欲に
快楽を求めて
いつてしまいたい...

んっ...

ハァ
ハァ

また.....何か...
...出そう...だ

はあ
はあ

ぬちゅ
ぬちゅ

出っ...

ぬちゅ
ぬちゅ

ダイの...
濡いやつ...
私の顔に
ぶちまけて...

ぐゅっ
ぐゅっ

!!!

ぎゅっ...これ...
.....この汁の匂い...
すいぐ興奮しちゃっ



マア……ム

はあ

はあ

口開けて……
ダイ

私たちの
暴走は

もう……
止まらない

もっこの奥まで……
刺殺して

ビクッ
ビクッ



ビクッ

ヒート……
おじいちゃん

ヒート

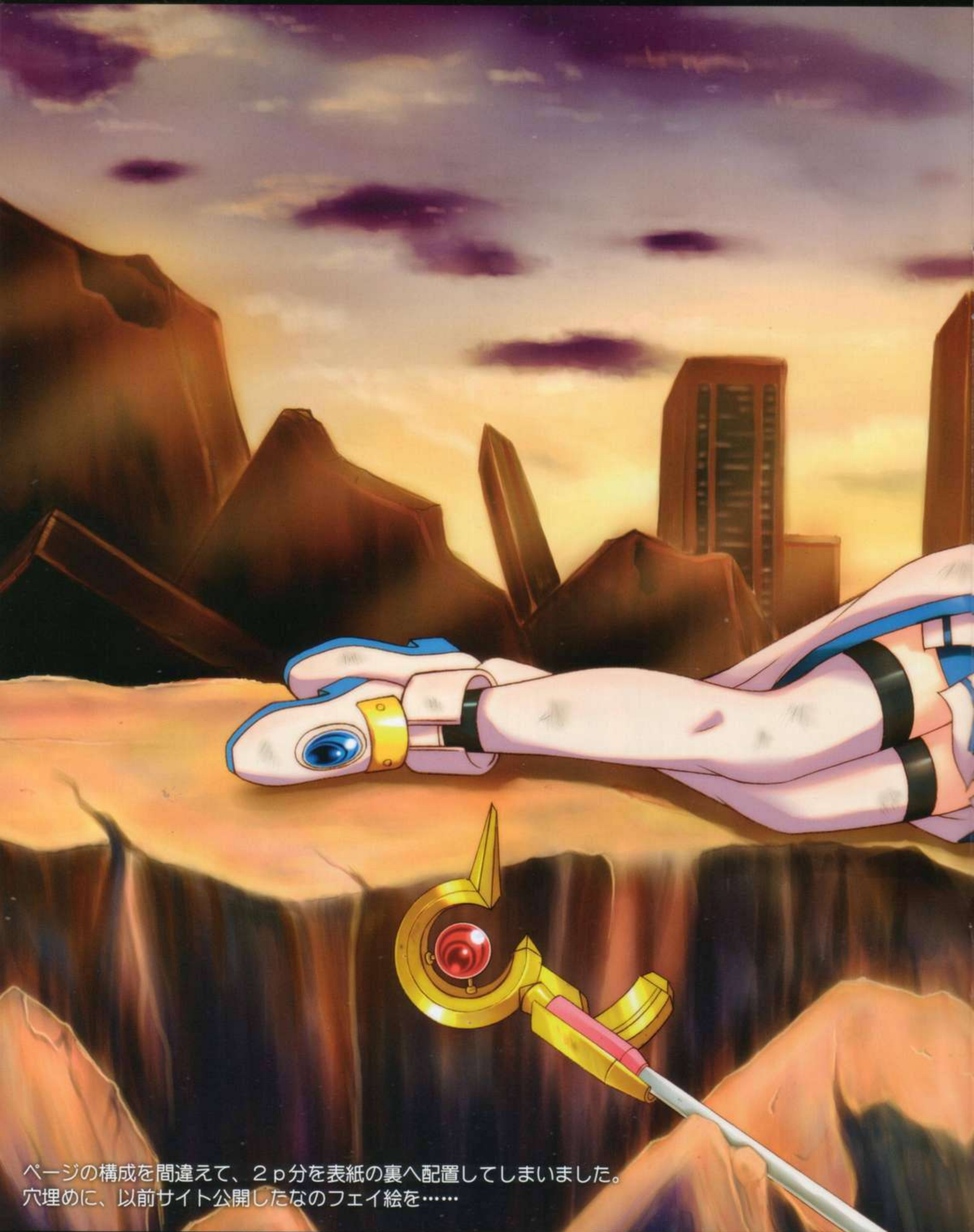
ヒート……
おじいちゃん

ヒート

ヒート







ページの構成を間違えて、2 p分を表紙の裏へ配置してしまいました。
穴埋めに、以前サイト公開したなのフェイ絵を……

おっかけっこは
ここまです

二五

…みたいなく

言っとくけど
こうなったらもう
アンタはおしまいッ

何故って今日連れてきたこいつは
過去に何千何万って天使たちに
地獄を見せてきた超ツワモノちゃん
なんだから

やったー
大成功♪
ついに
ウェディングビーチを
捕まえてやったー
…みたいなの♪

いっせー
ちゅー
ちゅー!!!

ふっふー
こいつに
捕まっちゃったら
怖いよう

んッ!

ずりゅっ
ずりゅっ

んんッ!

獲物の口の中へ
管を侵入させてきたと
思ったら
次の瞬間にはもう
お食事開始
猛烈な勢いで一気に
養分を吸い上げるッ!

ん!!

ダメ……
力が……抜けて……

当然アンタからぶんぶん
出てるその愛のウェーブも
それと一緒に……
いつもみたいな
力を出すのは無理
みたいない

こいつの本当に
恐ろしい行為は
食事のあとに
やってくる……

でもねー
これだけなら
実はまだマシ



誰だって
栄養を取ったら
カスが出るでしょお

お下品だから
取えてそれが
何かって単語
わたしの口からは
言えないけどお

まあその
ゴミみたいな
ものをね

こいつは食ったら
すぐにもよおしちゃう
らしくて

アソコに押し込んだ
管からソレを
どっさり落として
あースッキリみたいなく

だから……
養分を吸い尽くして
用済みの獲物は
みーんな

お腹をぼっこり
膨らませて
排出されてくるの

ああ……あ……
ああ……あ……

はっ……
はっ……

フフ……
凄いなあこれ
ぜーんぶ
カスが入って
こんな……

天使の綺麗な身体も
こうなっちゃう……
もうオシマイみたいな☆

はあ……
はあ……
はあ……

END

あの……

少将……

……

お言葉ですが
このような事を
して……

本当に
大丈夫なので
しょうか

パカ

安心
したまえ
キミ達に渡した
睡眠薬は
実に強力だ

途中で目を覚ま
されるような事は
万一にも無いよ

あ……いえ
そういう意味
ではなく……

八神二佐を
どうする
おつもりで……

まあ……少し
用があつた
ものでね

ん……?

ポラッ……





こいつをな

こつそりと体内に
埋め込んでしまえば
……どうだ？

八神はやての
思念通信を
好き放題
盗み聞きできる
わけだよ

今後……
彼女が従順な
「良き局員」で
あるかどうかを
常に監視し
その通りで
あるなら
それで良し



しかし
何かよからぬ事を
口走ろうものなら……

その通信記録を
然るべき所に流し
出世コースから
外してやる



ま……
手に入れたネタを
脅しに使って

この女を私の思い
通りに動かす方が
面白いかもしれんがな

END

発行：サイクロン

発行日：2008年12月30日

印刷：株式会社ポプルス様

連絡先：webmaster2@cyclone.sakura.ne.jp

寒い中のご来場、ありがとうございました。

前日の夜までコピー本のホッチキス作業に勤しむのもイベントの醍醐味ではありますが、フルカラーの目前印刷はやっぱりキツイものがありました。今回は原稿作成を前倒しして印刷屋さんで刷って頂きました。まあ中身の方は：いつも通りのお祭りのノリなので、『ふと湧いた妄想を短編仕様で』なわけですが、またこの中でもう少し内容を拡大して見てみたいという話がありましたら、メールとか頂けますと嬉しいですよ。では、今日は寒い中わざわざスペースまで来て下さりまして、ありがとうございました。また来年もサイクロンをどうぞよろしくお願い致します。





